

輸出事業計画

※申請者名：長野県信州そば協同組合

品目：干しそば

1. 輸出における現状と課題

- ・国内消費縮小を背景に、ヘルシー食として日本の麺需要の高まる海外向けに「信州そばブランド」を確立し、輸出拡大を行うため、組合会員企業が一体となって取り組む
- ・「信州そばブランド」の認知拡大のため、多言語化HP、販促ツールの構築やSNS活用等のプロモーション活動が未整備であり、展示会出展及び商談会参加に取り組む
- ・海外におけるそばの食べ方はそばサラダなど限定的であり、現地ニーズ及び嗜好に対応するメニューレシピを考案する必要性がある
- ・また現地消費者が自身でそばを茹でて食することが難しいことから、簡易な調理で食べられる電子レンジで茹で上げるそばを開発しており、当該商品の品質向上、安定製造技術及び茹で容器の開発が必要となっている
- ・干しそばについて、通常の調理方法より栄養価や機能性を残存させ、風味豊かな麺として商品の強みを有するため、感性工学分析機器により科学的なエビデンスに基づいたブランディングを行うマーケティング手法を確立することが求められる
- ・従来は個社での輸出が主流であり、信州そば協同組合としてノウハウ化、マニュアル化がなされていない

2. 輸出事業計画の取組内容

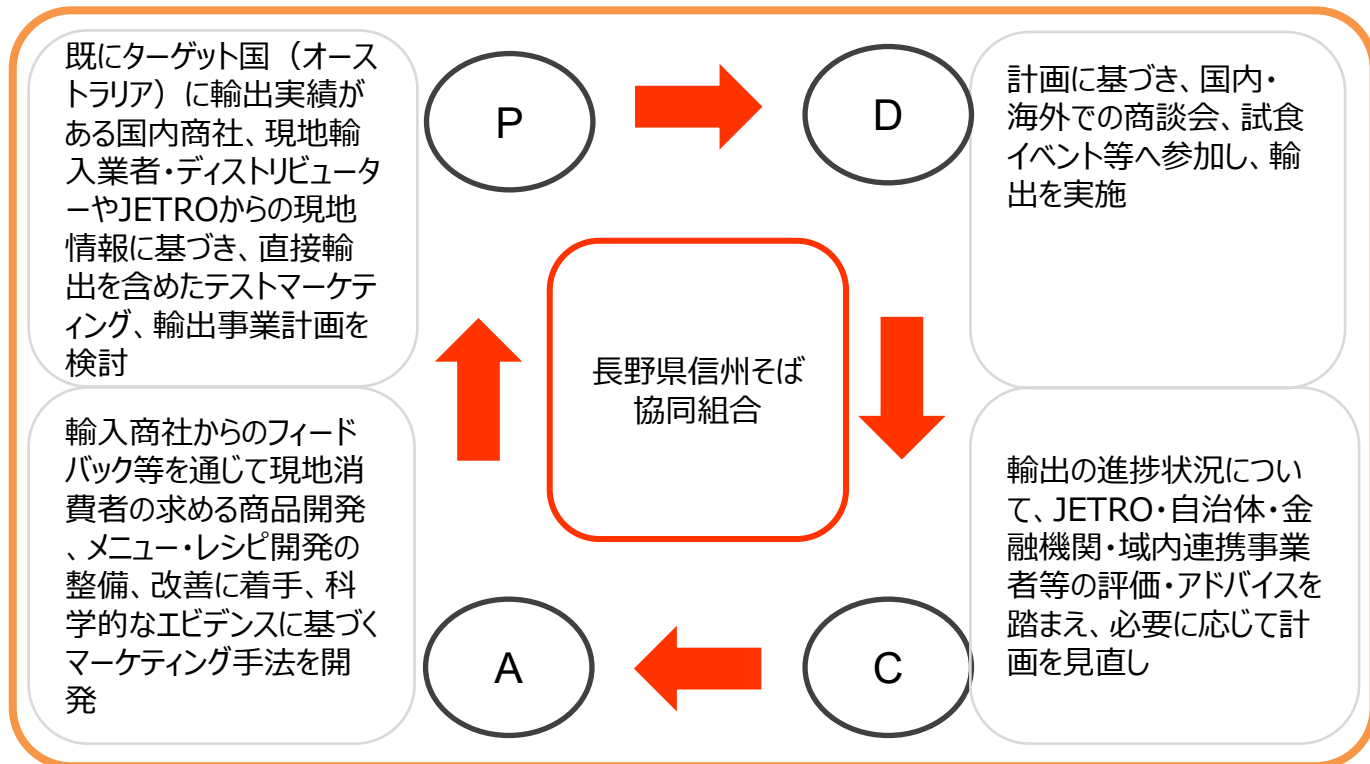
- ・ヘルシー食として日本の麺需要の高まる海外向けに「信州そばブランド」を味覚センサなど科学的根拠に基づき栄養成分、香味特徴から強みを抽出し、健康志向の強い海外消費者層への浸透、訴求を行う
- ・科学的なエビデンスに基づいたブランディング及びテスト販売、サンプル配布により把握した現地ニーズに対応した現地ディストリビューターと連携する新たなマーケティング手法を開発する
- ・「信州そばブランド」の認知拡大のため、多言語化HP、販促ツールの構築やSNS活用等のプロモーション活動、展示会出展及び商談会参加などのプロモーション活動の実施
- ・そばパスタ、冷やしそば、天ぷらそばなど現地ニーズに対応するメニューレシピを考案し、広くHPや動画等で紹介する仕組作り
- ・本事業で開発する電子レンジで茹で上げるそばの紹介、食べ方の紹介、調理方法など紹介ツールを整備する
- ・「信州そばブランド」確立に向けた事業者間、組合内のノウハウ習得、マニュアル整備

輸出事業計画

※申請者名：長野県信州そば協同組合

品目：干しそば

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



4. 輸出目標額

	【現状】 (令和2年度)	【目標】 (令和7年度)
輸出額	66,123,000円	150,000,000円
主な輸出先	アメリカ、カタル、EU、タイ 等	オーストラリア、台湾、香港、アメリカ、EU、シンガポール、タイ、中国

- ・目標額は現状の輸出額の200%超（倍増）を目指す
- ・長野県へのインバウンドが多いオーストラリアへの輸出を主としながら、市場拡大として台湾、香港、米国、EU等への展開を目指す